

GAP認証の農産物って 売っているの？

GAPの評価基準を満たした農家には「GAP認証」という安心・安全な作物を提供している証が与えられます。販売店や農家などではGAP認証農産物のパッケージにシールを貼ったり、マークを印刷して一目で分かるようにするという取り組みもありますので、お買い物の際には是非、注目してみてください。



／ これまでとこれから ／



本県の農畜産物は東京電力福島第一原子力発電所事故以降、風評被害に苦しめられており、今でも米やもも、牛肉等は、全国平均価格を下回る状況にあります。

JAグループ福島は、こうした状況をなんとか改善しようと、生産者や県と一丸となってGAPに取り組んできました。

今では、GAPに取り組む農家さんの数は、全国でもトップクラスです。

ぜひ、農家の皆さんの頑張りと誇りの証であるGAP農産物をお召し上がりください。



消費者、生産者、環境みんなにとって、
「GOOD」な農業の取組なんだね！



このパンフレットの内容および福島県内のGAP取得についてのお問い合わせ先

福島県農業協同組合中央会 農業振興部農業振興課

電話 024-554-3072

FAX 024-552-2786

福島県内のGAP取得については、上記または、お近くの農業協同組合(JA)にご相談ください。

ギャップ[®] GAP ってなに？



JAグループ福島

耕そう、大地と地域の未来。

JAグループ福島は持続可能な開発目標(SDGs)に取り組んでいます。

知ってほしいGAPの取り組み

キーワードは消費者、生産者、環境にとって、**GOOD**な農業



GAPってなに？

GAPとはGood Agricultural Practiceの頭文字をとったものです。

農業に関する様々な“リスク”に備えることで、みなさんに『安全・安心な食材』を『これからもずっと』お届けするために、GAPがあります。



よい 農業の やり方
GAP = Good Agricultural Practices

「適正な農業の取組で生産しよう！」という取組のこと

「国産の農産物=安全」だよね!?

GAP品に関わらず、農家は安全な農産物を皆さんに自信をもってお届けできるように、様々な注意を払いながら農産物を育てています。

ですが、“安全な理由は？”ときかされると、なかなか説明するのは難しいところです…。

GAPは、その農家が注意しているポイントを再確認し、“見える化”します。

例えば…



農産物が接触する物や場所は衛生的に保ちます。

皆さんの健康を損なう危険性を洗い出し、対策を講じています。

「安全な理由を説明できる」それがGAP品です。



「これからも元気に」 美味しい農産物をお届けします

おいしい国産の農産物を皆さんにお届けするためには、農家が元気に農業を続けていく必要があります。

実は、農作業事故の死者数割合※は、他産業と比べても突出して高い状況にあります。(比較例：建設業の3倍)

※就業人口10万人当たり死者数



高いところのものを
取るうとして
落下する危険はないか？



農道からトラクターが
転倒する危険は？

農作業事故につながる危険箇所を点検し、対策をとります。

**「これからも元気に農業を続けられる」
それを支えるのがGAPです。**

GAPは世界のアタリマエ？

GAPは世界各国にひろがっており、特にヨーロッパの大手の食品企業では、GAP農畜産物を求めることが浸透してきています。

また、2021年に開催される東京五輪では、選手村などで提供される料理にGAP農畜産物が使われることとなりました。



**「国際的に信頼される農家のしるし」
それがGAPです。**

